

水管理の徹底で登熟向上を図ろう！

1 生育概況(コシヒカリ 7/30現在)

現在の生育

平坦地 草丈：長い 茎数：多い 葉数：並 葉色：やや濃い
 中山間地 草丈：長い 茎数：多い 葉数：早い 葉色：やや淡い～並

○コシヒカリの出穂期は平年に比べて5日程度早く、平坦地の5/10～15の田植えで7月31日頃の見込みです。
 ○ほ場によっては葉色が低下していますので、品質向上のため水管理を徹底し、下葉の枯れ上がりや早期倒伏を防止しましょう。

2 調査結果 (普及センター、JA調査ほ)

コシヒカリ(平坦地)

	標高	田植	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			
			本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差	
今熊 (浦川原)	16	5/18	100	112%	118%	477	株当 27.6	107%	129%	12.9	-0.5	-0.1	35.0	0.1	2.5
飯室 (浦川原)	13	5/6	93	102%	109%	443	株当 26.2	109%	120%	13.6	0.0	0.6	32.0	-5.3	-0.5
宮口 (牧)	71	5/20	91	98%	107%	370	株当 19.8	89%	100%	13.2	-0.3	0.2	34.1	-2.5	1.6
平均			92	104%	111%	430	24.5	101%	116%	13.2	-0.3	0.2	33.7	-2.6	1.2

※前年H29の田植：今熊5/17、飯室5/7、宮口5/10

コシヒカリ(中山間地)

	標高	田植	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			
			本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差	
和田 (安塚)	133	5/13	96	101%	113%	502	株当 22.8	141%	136%	13.8	0.1	0.8	31.3	-5.3	-1.2
菖蒲 (大島)	337	5/13	93	106%	109%	505	株当 25.9	119%	136%	14.0	0.2	1.0	31.5	-4.2	-1.0
高尾 (牧)	352	5/20	93	104%	109%	455	株当 23.1	137%	123%	14.1	0.5	1.1	33.5	-1.4	1.0
平均			94	104%	111%	487	23.9	132%	132%	14.0	0.3	1.0	32.1	-3.6	-0.4

※前年H29の田植：和田 5/13、菖蒲5/15、高尾5/15

つきあかり

	標高	田植	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			
			本年	前年比	めやす比	本年	前年比	めやす比	本年	前年差	めやす差	本年	前年差	めやす差	
平坦地 宮口 (牧)	57	5/13	103	-	127%	313	株当 15.8	-	98%	11.6	-	-1.4	34.0	-	-6.0
中山間地 坊金 (安塚)	198	5/11	97	-	139%	515	株当 25.1	-	166%	13.6	-	0.6	38.7	-	-1.3
高尾 (牧)	285	5/12	100	100%	143%	446	株当 19.3	118%	144%	12.6	-0.2	-0.4	35.6	-0.6	-4.4
平均			100	-	136%	425	20.1	-	202%	12.6	-	-0.4	36.1	-	-3.9

※前年H29の田植：高尾5/7、宮口・坊金は前年データなし ※出穂期：宮口7/21、坊金7/20、高尾7/23

3 今後の管理のポイント

- 出穂・開花期頃は最も水が必要な時期です。湛水して稲体の活力低下や下葉の枯れ上りを防ぎましょう。また、土は湿っていても、溝や足跡に水が無い場合は、直ちにかん水しましょう。
- 高温下では白未熟粒が発生しやすいので、こまめにかん水し品質確保に務めましょう。
- 異常高温・フェーン時は速やかに湛水し、稲体から急激な蒸散による障害を防止しましょう。
- 出穂直前の葉色が極端に淡い場合、出穂期3日前までに追肥をしましょう。
(条件：SPAD値で31以下、葉色板：単葉4未満又は群落3.1未満の場合、窒素成分で1kg/10a以内を施用)
- カメムシ類の防除のため、定期的な畦畔・農道等の草刈りと穂揃期の本田防除を徹底しましょう。
- いもち病の発生に十分注意し、発病が見られた場合は薬剤防除を行って下さい。
- 出穂期以降の高温、かん水不足が原因となって着色米が発生する場合があります。
対策としては出穂期にブラシン粉剤DL(3~4kg/10a)又はブラシン水和剤(1,000倍で60~150l/10a)等を茎葉散布する。飽水管理の継続等があります。